

豊田市の 災害文明と災害文化を 考える



日時

令和6年

1/13 土

入場
無料

開場 午後1時30分

開会 午後2時

閉会 午後4時(予定)

会場

豊田産業文化センター
小ホール

豊田市小坂本町1-25

定員

240名(自由席)

入場料

無料

先着順・申込不要・手話通訳・要点筆記あり

開催内容

◎第1部 基調講演

「豊田市の災害文明と災害文化を考える」

講師 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授

ひらやま ながひさ
平山 修久氏

◎第2部 パネルディスカッション

「将来の異常気象における豊田市の備えを考える」

□パネリスト(予定)

早川 和広 氏(豊田市気象防災アドバイザー)

酒井 保彦 氏(豊田市自主防災会連絡協議会 会長)

濱田 孝光 氏(豊田市役所 地域振興部 防災対策課 課長)

田代 研 (豊田市議会 地域生活委員会 委員長)

□コーディネーター

平山 修久 氏

講師プロフィール



講師から
ひとこと

近年、災害は頻発、激甚化してきています。

一方、現代社会では、河川堤防や砂防ダム、緊急地震速報や豊田市防災気象情報サイトなどさまざまな防災減災技術、すなわち災害文明が備えられてきています。

2023年は関東大震災から100年、2024年は1944年昭和東南海地震から80年となります。

47災害など過去の経験から学び、災害文明を活かす豊田市の災害文化を一緒に考えましょう。

名古屋大学
減災連携研究センター
准教授

ひら やま なが ひさ
平山 修久氏

【略歴】

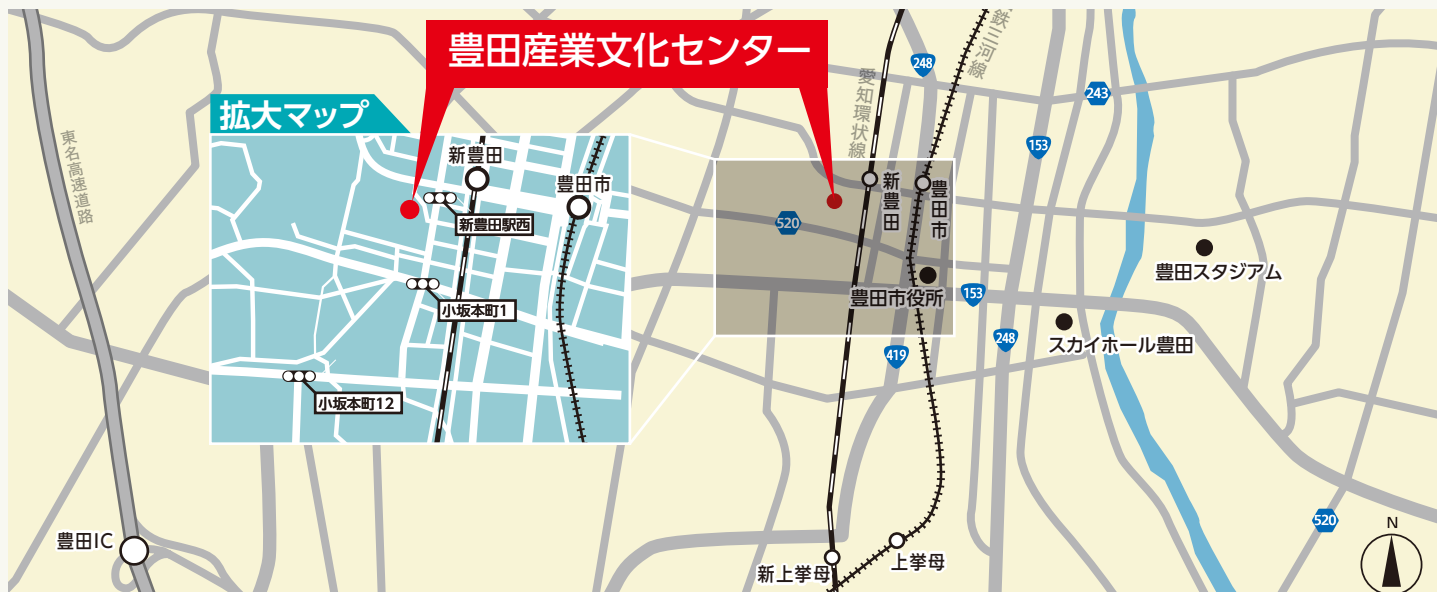
2004年3月	京都大学大学院博士後期課程修了、博士(工学)
2004年～2008年	人と防災未来センター 主任研究員
2008年～2013年	京都大学大学院工学研究科 特定准教授
2013年～2016年	国立環境研究所 主任研究員
2016年～	名古屋大学減災連携研究センター 准教授

市民シンポジウムとは

市民の皆様にはわかりやすい開かれた議会の実現に向けて、豊田市議会では、平成23年度から市民シンポジウムを開催しています。豊田市の重点テーマに関連した基調講演及び参加者との意見交換を行う市民参加型のシンポジウムです。

今回の市民シンポジウムは「豊田市の災害文明と災害文化を考える」をテーマに開催します。近年、異常気象等の影響により、大規模災害が激甚化・頻発化しています。昨年、豊田市では47災害から50年を迎えました。今一度、大規模災害に対する見識を深めるため、大規模災害発生時に豊田市が抱えるリスク、防災・減災に向けた対策を考える機会にしていいただければ幸いです。

交通アクセス



駐車場が限られています。公共交通機関でお越しください。お車でお越しの方は乗り合わせてお越しください。

お問い合わせ

豊田市議会局

豊田市西町3-60 豊田市役所 南庁舎6階
電話/0565-34-6665 FAX/0565-34-6566
Email/gikaigiji@city.toyota.aichi.jp

豊田市議会ホームページ
<http://toyota-shigikai.jp/>

